

## 人材育成プログラムの今後の流れ

### 概要

重点観光圏に指定されている各地域から 2 名程度を人材育成対象者として設定し、OJT 等による人材育成プログラムを実施する。重点観光圏におけるプロジェクト活動を人材育成の点から支援することによって、現場からのフィードバックを取得し、ガイドライン（案）内容（人材タイプの分類、人材育成手法の提示等）の改善を行う。

### 人材育成対象者候補について

別紙参照。

### 今後のスケジュール

11 月 人材育成対象者による、「受講カルテ」（次ページ参照）の記入。

→ 対象者の現状スキルと、育成対象とするスキルを設定。

※対象者以外の中核メンバーも、受講カルテと一部が同内容のアンケート記入を行う。

11 月～2 月 育成プログラムの実践

→ 講師による OJT、文献購読、外部機関によるセミナー受講を行う。

OJT	重点観光圏プロジェクトに関わる実施計画書に基づき、地域で、実践する
文献購読	育成対象スキルに関連した参考文献を 2 冊程度抽出し、提供
外部機関等によるセミナー受講	育成対象スキルに関連した人材育成プログラムを提示し、受講希望プログラムに参加させる(各人 1 プログラム)

2 月上旬 人材育成対象者による文献購読、外部機関によるセミナー受講の実施レポート提出

→ レポートの分量は、A4・1 枚程度とする。

2 月 20 日または 21 日（予定） 成果発表会において、人材育成対象者による OJT の成果報告

→ 成果発表会の開催概要（案）

実施目的：人材育成資料の試行的利用や、人材育成対象者によるプレゼン体験を通じて、資料および人材育成ガイドライン（案）の全体としての完成度を高める。

想定参加者：重点観光圏の人材育成対象者（各地域 2 名）、人材育成資料作成者（検討会委員）等

内容：

1	13:00～ 14:30	作成した人材育成資料を利用したモデル講義(グループ別)	3つ程度のグループ(各グループ8名程度)に分かれ、作成した講義資料を用いて、作成者自身がモデル講義を実施
2	14:40～ 16:10	人材育成対象者によるOJTの成果報告(グループ別)	3つ程度のグループ(各グループ8名程度)に分かれ、各地域で「人材育成対象者」自身が取り組んだ経験を元に、成功要因や失敗要因を報告。
3	16:20～ 17:30	人材育成手法をテーマとした全体ディスカッション	以上をふまえ、PF中核人材自身の立場から、人材育成手法のあり方について、全体で議論する

観光庁では、重点観光圏における観光地域づくりプラットフォームの活動を支援するため、コンダクターおよび講師の派遣事業を行います。

本事業では、コンダクター、講師と言った外部人材と共に、各種事業を実施してだけでなく、平行して、事業への取り組み（OJT）を通じ、地域の中核人材の能力育成を行っていくことも目的としています。

この人材育成効果をより高めるため、1地域2名程度の人材を対象に、OJTに留まらない人材育成プログラムを展開していくことを予定しています。

本プログラムの参加者は、事業活動に必要なスキル育成に資する参考資料・文献の提供を受けたり、大学などが実施する研修プログラムへ参加したりする事が出来ます。

## 観光地域づくり人材育成ガイドライン業務 研修プログラム申し込み 兼 受講カルテ（案）

私は、首記事業にて実施される研修プログラムへの参加を希望します。

ふりがな	
名前	
年齢	
性別	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
所属先名	
役職	
業務内容	

※ 個人情報の取り扱いについての詳細は、(財)日本交通公社ホームページ (<http://www.jtb.or.jp>) をご覧下さい。

# 観光地域づくり人材育成ガイドライン業務

問1. まず、あなたの事を教えてください

- ①年齢            1.20代以下    2.30代    3.40代    4.50代    5.60代以上  
②性別            1.男性          2.女性  
③兼職の有無    1.専任          2.他業務と兼任 → (兼任先            )

問2. あなたが、観光地域づくりプラットフォームにおいて、目指す役割について、もっともよくあてはまるものをお答えください。(○はひとつだけ)

- 1.全体統括・リーダーシップ      2.マーケティング・商品開発      3.組織管理・会計

問3. 「問2」で選んだ人材像を100とした場合、あなたの現状はどの程度と思いますか?

0～100までの数値でお答えください。→

問4. あなたが「問2」で選んだ人材像として活動する場合、こういった能力が重要だと思いますか? あなたの思う重要度をお答えください。

	全く重要ではない ----- 大変重要である						
リーダーとしてプロジェクトを推進	1	2	3	4	5	6	7
地域商品のプレゼンテーション	1	2	3	4	5	6	7
多様な主体の合意形成と意見集約	1	2	3	4	5	6	7
組織の事業戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
顧客の新規開拓および維持の実現	1	2	3	4	5	6	7
商品の付加価値（ブランド力）向上	1	2	3	4	5	6	7
行政等の支援制度の活用	1	2	3	4	5	6	7
地域の観光系資源の発掘、活用、保全	1	2	3	4	5	6	7
科学的な市場調査および分析	1	2	3	4	5	6	7
地域の歴史、文化、自然についての研究	1	2	3	4	5	6	7
組織内の人材管理計画の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
事業収支計画の立案と管理	1	2	3	4	5	6	7
観光プロモーション戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
特産品の開発と販売	1	2	3	4	5	6	7
着地型旅行商品の造成と販売	1	2	3	4	5	6	7

問5. あなたが現組織に在籍する前までの職歴をお答えください。(〇はいくつでも)

1.貴法人以外の職歴はない	2.公務員(地域内)	3.公務員(地域外)	4.旅行会社(地域内)
5.旅行会社(地域外)	6.宿泊施設(地域内)	7.宿泊施設(地域外)	8.その他観光施設(地域内)
9.その他観光施設(地域外)	9.その他会社員(地域内)	10.その他会社員(地域外)	11.まちづくりNPO(地域内)
12.まちづくりNPO(地域外)	13.その他( )		

問6. あなたの以下にあげる分野についての経験値をお答えください。(〇はそれぞれひとつだけ)

	ほとんど経験していない ----- 十分に経験を積んでいる						
	1	2	3	4	5	6	7
リーダーとしてプロジェクトを推進	1	2	3	4	5	6	7
地域商品のプレゼンテーション	1	2	3	4	5	6	7
多様な主体の合意形成と意見集約	1	2	3	4	5	6	7
組織の事業戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
顧客の新規開拓および維持の実現	1	2	3	4	5	6	7
商品の付加価値(ブランド力)向上	1	2	3	4	5	6	7
行政等の支援制度の活用	1	2	3	4	5	6	7
地域の観光系資源の発掘、活用、保全	1	2	3	4	5	6	7
科学的な市場調査および分析	1	2	3	4	5	6	7
地域の歴史、文化、自然についての研究	1	2	3	4	5	6	7
組織内の人材管理計画の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
事業収支計画の立案と管理	1	2	3	4	5	6	7
観光プロモーション戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
特産品の開発と販売	1	2	3	4	5	6	7
着地型旅行商品の造成と販売	1	2	3	4	5	6	7

問7. あなたを含む、組織の中核的な人材の能力向上のために、組織的に実施されていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. OJT	2. 内部研修の実施	3. 外部研修への派遣	4. 自己啓発の金銭的な支援
5. 自己啓発の時間的な支援	6. 多様な業務機会の提供	7. 責任と権限の積極的な移譲	
8. その他(具体的に: )			9. 特にない

問8. あなたが業務を実施する際に、良く相談される方をお答えください。

--

問9. あなたご自身の、観光地域づくり活動への関わり方についてお聞きします。最もよくあてはまると思われるところに、○をつけてください。(○はそれぞれひとつだけ)

	まったくそう思わない ----- 非常にそう思う						
	1	2	3	4	5	6	7
地域の理念・目的・目標を理解し、主体的に行動している							
地域の理念・目的・目標を、他の関係者達と検討し、提示している							
地域の理念・目的・目標の達成に向けて、賛同者を増やしながらか合意形成に取り組んでいる							

問10. 自身の能力向上のため、あなたが読んでみたい書籍はありますか。

書名	著者・編者	出版年	キーワード
※ 企業戦略論【上】【中】【下】	ジェイ・B・バーニー	2003	事業 戦略
観光経営戦略—戦略策定から実行まで	ジョントライブ	2007	—
※ 人を動かす 新装版	デール カーネギー	1999	リーダー
※ 世界一わかりやすいプロジェクト・マネジメント	サニー ベーカー他	2005	プロジェクト マネジメント
※ 組織力を高める 最強の組織をどうつくるか	古田 興司、平井 孝志	2005	人材 マネジメント
観光白書	観光庁	2010	—
※ゼロからわかる 事業計画書の作り方	井口 嘉則	2009	事業 収支 計画
地域からのエコツーリズム—観光・交流による持続可能な地域づくり	敷田 麻実 他	2008	—
※ 観光まちづくりのマーケティング	山田 雄一 他	2010	観光地 マーケティング
※ 観光の地域ブランディング—交流によるまちづくりのしくみ	敷田 麻実 他	2009	観光地 マーケティング
体験交流型ツーリズムの手法—地域資源を活かす着地型観光	大社 充	2008	—
※ 地域づくりの実例から学ぶ(地域ビジネス研究叢書 No.05)	東邦学園大学地域ビジネス研究所	2006	地域学 研究
※ 地域ブランド・マネジメント	和田 充夫 他	2009	ブランド 地域 戦略
※ シティプロモーション—地域の魅力を創るしごと—	河合 孝仁	2009	地域 プロモーション
※ これでわかる! 着地型観光—地域が主役のツーリズム	尾家 建生 他	2008	着地型
※ そうだ! 葉っぱを売ろう! 過疎の町、どん底からの再生	横石 知二	2007	特産品 開発/地域 資源
※ 地元の逸品を世界に売り出す仕掛け方—「知る人ぞ知る」を「カネのなる木にかえる」	安藤 竜二	2009	特産品 開発
※ 加工特産品開発読本—食と農のマーケティング—	鳥巢 研二	2004	特産品 開発
※ 地域ブランドと魅力ある—産業振興・地域おこしの新しいかたち	佐々木 一成	2011	着地型
※ はじめよう 観光地づくりの政策評価と統計分析	土居 英二 編	2009	観光地 統計
※ 観光まちづくり—まち自慢からはじまる地域	西村 幸夫	2009	地域 マネジメント
※ 地域を活性化するマネジメント「地域力」を強くする3つの視点	中根 雅夫	2010	地域 マネジメント
※ 観光経済学入門	James Mak	2005	観光 経済
※ 観光経済学の原理と応用	河村 誠治	2008	観光 経済
観光地経営専門化育成プログラム テキスト	経済産業省(立教大学)	2009	—

これらリスト外の書籍(署名、著者、出版社などをお知らせください。)

※ 2冊まで、無料で提供させていただきます。ただし、読了後、レポート(仕様は後日設定)いただきます。

問11. 自身の能力向上のため、あなたが受講してみたい人材育成プログラムはありますか。受講を希望する具体的なプログラムがある場合は、その名称、主催者、連絡先などをお知らせください。プログラムが無い場合には、希望するプログラムの内容、開催場所などについてお知らせください。

※ 具体的なプログラムが無い場合は、希望内容を元に、後日、事務局より提案させていただきます。  
 ※ 事務局にて審査後、プログラム1つの受講料および旅費を提供させていただきます。ただし、プログラム受講後、レポート(仕様は後日設定)いただきます。

ご協力ありがとうございました

観光庁では、重点観光圏における観光地域づくりプラットフォームの活動を支援するため、コンダクターおよび講師の派遣事業を行います。

本事業では、コンダクター、講師と言った外部人材と共に、各種事業を実施してだけでなく、平行して、事業への取り組み（OJT）を通じ、地域の中核人材の能力育成を行っていくことも目的としています。

こうした取組の結果をもとに、本事業では「観光地域づくり人材育成ガイドライン（案）」の策定を行います。実践的なガイドライン内容の策定にあたり、皆様のご協力を賜りたく宜しくお願いいたします。

## 観光地域づくり人材育成ガイドライン業務 に関するアンケート

ふりがな	
名前	
年齢	
性別	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
所属先名	
役職	
業務内容	

※ 個人情報の取り扱いについての詳細は、(財)日本交通公社ホームページ (<http://www.jtb.or.jp>) をご覧下さい。



問5. あなたが現組織に在籍する前までの職歴をお答えください。(〇はいくつでも)

1.貴法人以外の職歴はない	2.公務員(地域内)	3.公務員(地域外)	4.旅行会社(地域内)
5.旅行会社(地域外)	6.宿泊施設(地域内)	7.宿泊施設(地域外)	8.その他観光施設(地域内)
9.その他観光施設(地域外)	9.その他会社員(地域内)	10.その他会社員(地域外)	11.まちづくりNPO(地域内)
12.まちづくりNPO(地域外)	13.その他( )		

問6. あなたの以下にあげる分野についての経験値をお答えください。(〇はそれぞれひとつだけ)

	ほとんど経験していない ----- 十分に経験を積んでいる						
	1	2	3	4	5	6	7
リーダーとしてプロジェクトを推進	1	2	3	4	5	6	7
地域商品のプレゼンテーション	1	2	3	4	5	6	7
多様な主体の合意形成と意見集約	1	2	3	4	5	6	7
組織の事業戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
顧客の新規開拓および維持の実現	1	2	3	4	5	6	7
商品の付加価値(ブランド力)向上	1	2	3	4	5	6	7
行政等の支援制度の活用	1	2	3	4	5	6	7
地域の観光系資源の発掘、活用、保全	1	2	3	4	5	6	7
科学的な市場調査および分析	1	2	3	4	5	6	7
地域の歴史、文化、自然についての研究	1	2	3	4	5	6	7
組織内の人材管理計画の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
事業収支計画の立案と管理	1	2	3	4	5	6	7
観光プロモーション戦略の立案と実践	1	2	3	4	5	6	7
特産品の開発と販売	1	2	3	4	5	6	7
着地型旅行商品の造成と販売	1	2	3	4	5	6	7

問7. あなたを含む、組織の中核的な人材の能力向上のために、組織的に実施されていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. OJT	2. 内部研修の実施	3. 外部研修への派遣	4. 自己啓発の金銭的な支援
5. 自己啓発の時間的な支援	6. 多様な業務機会の提供	7. 責任と権限の積極的な移譲	
8. その他(具体的に: )		9. 特にない	

問8. あなたが業務を実施する際に、良く相談される方をお答えください。

--



問9. あなたご自身の、観光地域づくり活動への関わり方についてお聞きします。最もよくあてはまると思われるところに、○をつけてください。（○はそれぞれひとつだけ）

	まったくそう思わない ----- 非常にそう思う						
	1	2	3	4	5	6	7
地域の理念・目的・目標を理解し、主体的に行動している							
地域の理念・目的・目標を、他の関係者達と検討し、提示している							
地域の理念・目的・目標の達成に向けて、賛同者を増やしながらか合意形成に取り組んでいる							

ご協力ありがとうございました